



### 自立する力をつける

将来なりたい姿

### 強い心を育てる

今あるべき姿

### 学力向上・自発学習

伸ばす力

#### 1 開校10周年を機に、今後の展望を切り拓く

- ア 生徒受入れのあり方…募集・広報活動を充実させ、本校のミッションを正確に伝える。
- イ 生徒の成長のあり方…「稔ミニマム」を策定して生徒指導とキャリア教育の充実を図るなど、コミュニケーション能力とマナーの育成を推進する。
- ウ 卒業・進路のあり方…教育課程やキャリア教育を工夫することにより、進路決定率の向上を図る。
- エ 学習支援のあり方…「誉めて伸ばす」ことを基本に、学習習慣を定着させ、伸びる生徒には「負荷」をかけ、さらなる学習を促す。
- オ 生徒相談のあり方…カウンセリング委員会、スクールカウンセラー・みのりの場の活用力
- カ 学校生活のあり方…学校行事（文化祭、みのり杯、授業発表会）・進路体験行事の充実
- キ 学校のしくみのあり方…他校履修や学校外の学修などを駆使した柔軟な学習システム
- ク 外部関係のあり方…みのり保護者の会、卒業生の会、社会福祉協議会や若者サポートステーション等の外部の関係機関との連携を推進する
- ケ 教員集団のあり方…課題意識の共有とOJTの推進

今年度の目標と方策

#### 2 学習指導

- ア スモールステップを活用して自己効力感を養い、「自発学習」する生徒を育てる。
  - ・学習到達目標を明確にし、小さな達成感を積み重ねて自己効力感を育てる。
  - ・毎回の小テストや自宅学習の工夫で「自発学習」を習慣づける。
  - ・基礎力診断テスト結果を活用し、外部模試も積極的に受験させる。
  - ・補講等を活用して、検定試験等の受験を積極的に奨励する。
- イ 長期休業日中にも学習指導を切らさない。
  - ・検定対策講座等を実施し、生徒の検定合格と学力向上を目指す。
  - ・体験的な学習を中心とした講座を指向し、マイレージに加える。
- ウ 授業の質を向上させる。
  - ・言語活動を導入し、生徒を積極的に授業に参加させる。
  - ・ICT機器を使った授業の工夫・改善を推進する。
  - ・生徒による授業評価を行い、授業改善策を各教科で検討する。
  - ・研究授業を励行し、授業改善に資する。

#### 3 キャリア教育指導

- ア 組織的なキャリア教育を確立する。
  - ・1年次から卒業年次までの一貫したキャリア教育を確立する。
  - ・キャリア教育の内容について、生徒の実態に応じて精選・厳選する。
- イ キャリア教育を通して「社会的自立」を促す。
  - ・1年次のキャリア教育により、社会の中での自他の肯定感を高めるとともに、ピアサポート（仲間同士の支え合い）による学校生活への定着と、コミュニケーション能力の向上を推進する。
  - ・2年次以降のキャリア教育では、自己の社会的役割に気付かせ、進路意識を高める。また、卒業年次のキャリア教育では、進路実現と社会的自立を図る。
- ウ 「社会的自立」を実現する指導を行う。
  - ・マイレージを活用して、ボランティア活動やインターンシップに積極的に参加させる。
  - ・ハローワークや若者サポートステーション等の外部機関と積極的に連携する。
  - ・自立のための社会性やマナーを育成する指導を推進する。

#### 4 生徒指導

- （学校生活）
- 「他人のチャレンジを邪魔しない」を合言葉に、全教職員で組織的な生活指導を推進する。
- ア 安心安全な学校を創る。
  - ・生命と人権を尊重させ、自他のチャレンジを尊重する。
- イ 落ち着いた学校生活をおくらせる。
  - ・ノーチャイム制により、スケジュール管理の能力を身に付ける。
  - ・全校で「笑顔で挨拶」を励行する。
  - ・校服の正しい着用（特にスカート丈）を徹底する。
- ウ きれいな学校環境を守る。
  - ・校内清掃を徹底し、ゴミ分別活動を推進する。
- エ 文化祭、みのり杯、進路体験行事を充実させる。
- オ 生徒の自主性を育てるHR活動や生徒会活動を推進させる。
- カ 部活動の活性化により、課題解決能力とコミュニケーション能力を身に付けさせる。
- 5 防災教育
  - ア 災害に備えた校内体制を整える。（学校安全・防災対策委員会）
  - イ 震災を想定した防災訓練を行なう。（年4回）
  - ウ 災害に対応できる備蓄を行なう。（企画室、総務部）

#### 6 保健指導（心と体の健康づくり）

- ア カウンセリング委員会を中心に種々の相談機能（スクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーター、みのりの場、スクールソーシャルワーカー等）を向上させる。
- イ 情報交換会における生徒情報を活かし、特別支援教育コーディネーターを中心に配慮を要する生徒の支援の立案を行う。
- ウ 学校保健計画、学校安全計画を立案し実行する。
- 7 募集・広報活動
  - ア 個別相談、各種説明会を通して受検生や保護者、中学校、適応指導教室等への学校理解を深める。
  - イ 入学選抜検査の結果を分析し、今後の改善に活用する。
  - ウ Web ページを充実させ、中学校や適応指導教室等に情報を発信し、募集・広報活動の改善・工夫する。
- 8 地域交流、保護者
  - ア 幼稚園や小・中学校、特別支援学校、町会、社会福祉協議会等、地域の関係機関との連携を強化する。
  - イ 生徒のボランティア活動を奨励し、地域との交流活動を推進する。
  - ウ 「みのり保護者の会」及び「卒業生の会」の組織化に協力し、連携を図る。

#### 9 経営企画室

- ア 経営改善企画や施策提言を行い、経営参画型の企画室を構築する。
- イ 効率的な予算執行を通して、学校経営計画を具現化する。
- ウ 常に正副の担当で業務をカバーする。
- 10 環境整備担当
  - ア 清潔で安全な学校環境を維持整備する。
  - イ ゴミの分別指導や共通部分の清掃を徹底する。
  - ウ 生徒が快適な学校生活を送ることができるよう、校内の施設・設備の点検や改善に努め、不具合情報を企画室に速報し対処する。
- エ 敷地外周の樹木剪定・消毒に努める。
- 11 図書室
  - ア 生徒の「読みたい」「知りたい」読書環境を充実させる。
    - ・生徒の自発学習・自発読書環境を整備する。
    - ・開館時間の拡充等により、利用率を向上させる。
    - ・生徒の図書委員会活動を充実させる。
  - イ 英語多読ルーム、多読コーナーを充実させる。
    - ・英語における自発学習環境を整備する。
  - ウ 都立6高校図書館ネットワーク事業を推進する。

重  
点  
目  
標  
と  
方  
策

#### 1 学習指導

- ア 小テストや家庭学習などにより、生徒に負荷をかける。
- イ 言語活動をはじめ、体験的な学習活動を積極的に導入する。
- ウ 検定試験や資格取得試験の受験を励行し、自信をもたせる。
- 2 キャリア教育指導
  - ア 社会体験日、授業発表会等の体験学習を推進する。
  - イ 上級学校訪問等を通して、進路意識を啓発する。
- 3 生徒指導
  - ア 「稔ミニマム」によって、マナーやルールの具体的な指導を計画的に推進する。
  - イ みのり杯や総祭への主体的な参加を通して、自発性を培う。
  - ウ 部活動の加入率を高め、活動の活性化を図る。
- エ ボランティア活動を推奨し、参加生徒を増やす。
- 4 保健指導
  - ア SC やSSW 等と連携して相談機能を向上させる。
- 5 募集・広報活動
  - ア 個別相談等の機会を通して、本校の理念、特色を周知する。
  - イ Web ページを充実させ、募集・広報活動を推進する。
- 6 学校経営
  - ア 市民講師や関係機関等の学校外の教育力を活用する。